

団体名		事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
1	群馬県 みなかみ町	廃校舎のリノベーションによる地元農産物を活用したクラフトビール醸造所整備事業	43,500  国費：29,000 地方費：14,500	87,000	利根郡信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行形態の変化等による温泉街を中心とした観光客の減少や人口減少に歯止めがかからず、地域の賑わいが薄れつつある。</li> <li>・農業の高齢化と非効率化、遊休農地の増加という悪循環に陥っており、農地の荒廃は景観の悪化や鳥獣被害の発生も招いている。</li> <li>・人口減少や施設の統廃合により、遊休施設や空き家が増加。解体もされずに放置された状態で、その活用や管理が困難となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンゴ団地の中心に位置する旧小学校の廃校舎を、地元農産物を活用したクラフトビール醸造所にリノベーション</li> <li>・地域のリンゴ組合と連携して、規格外のリンゴをシードル製造のために安定的に調達。また、遊休農地を活用して新たにホップも栽培</li> <li>・醸造したクラフトビールやシードルを、温泉街の飲食施設や宿泊施設等で幅広く提供。土産品等としても扱いやすい商品も開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業…6次産業化により農家の収益性が向上。農地が保全されることで鳥獣被害も抑制される。また、新たな雇用機会も創設され、地域内の経済循環が強化される。</li> <li>・観光…魅力的な地場産品の販売や活用が広がり、温泉街と連動した観光振興に繋がる。</li> <li>・施設…廃校舎が地域の拠点として継承され、行政としての管理コスト・リスクも低減される。</li> </ul>
2	新潟県 佐渡市	佐渡島の資源を活用した持続可能な食と観光による地域活性化事業	25,000  国費：18,750 地方費：6,250	25,000	第四北越銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節要因により漁獲量や魚種に偏りがあるため、特に夏季においては地元海産物の確保が難しく、ホテル需要の魚介類は輸入品に対応している状況。</li> <li>・観光客数の季節変動が大きく、ホテル調理担当者等の通年雇用が困難な状況であるため、閑散期である冬季の仕事創出に課題。</li> <li>・水産従事者の所得水準が低く、また後継者不足に課題。さらに、付加価値がある加工品の商品化が他の地域と比較して遅れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍加工施設の整備により、地元漁師や養殖業者から買い付けた佐渡産の魚介類を用途に合わせて加工できる仕組みを構築する。</li> <li>・ホテル調理人の指導により、切り身、調理味付け、冷凍・真空パック、梱包等を行い、通年を通して観光客などに佐渡産の魚介類を提供できるようにする。さらには、ふるさと納税返礼品・お土産品としても展開していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済への貢献…佐渡の食材を佐渡で消費することにより、域内経済循環の構築、観光資源の魅力化に寄与。</li> <li>・雇用の安定化…観光業における繁閑の差による通年雇用の障壁を低減、冬季の仕事として従事が可能。</li> <li>・持続可能な島内水産事業の進展…需要拡大と安定化を図り、①小規模漁業者からの買い取り時に「価格設定制度」の導入、②島内加工により、配送経費節減が得られ、卸価格への上乗せなどにより、水産従事者の所得の向上が図られる。</li> </ul>
3	新潟県 南魚沼市①	脱炭素社会に向けた「薪ストーブ × コワーキングスペース」による地域の拠点形成事業	6,817  国費：3,408 地方費：3,409	6,818	第四北越銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境への影響や将来的な安定性の観点から、より環境負荷が少なく、地域内での循環が可能なバイオマスエネルギーへの転換を図ることが求められている。</li> <li>・森林整備が進まず森林の持つ公益的機能の維持が危惧されており、「育てる」森林整備から「利用する」森林整備への転換につながる循環型の仕組みづくりが必要とされている。</li> <li>・JR六日町駅前の商店街では空き店舗が増加しており、地域経済の衰退や観光業への悪影響が懸念されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ストーブ事業…間伐材使用による環境負荷軽減と木材利用拡大による地球温暖化対策を推進するため、新潟県内の間伐材を使用した薪ストーブ等の導入を推進するショールームを設置する。ショールームでは薪ストーブの展示・体験やメンテナンス講習会も開催。また、薪の調達も一貫して行うことで、薪ストーブ導入のハードルを下げる。</li> <li>・コワーキング施設運営事業…コワーキング施設の運営を行い、地域の起業家等が快適に利用できる環境を提供する。さらに、暖炉を囲みながら働くことで、新たなビジネスアイデアやネットワークを創出する場を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ストーブの普及を促進し、自然エネルギーの暖房器具への転換を図る。</li> <li>・新潟県産材の間伐材を使用し、里山の整備と環境保全を実現する。</li> <li>・当市のJR六日町駅正面という立地によって、商店街も含め駅前全体の活性化が見込まれる。</li> <li>・地域に根差して起業にチャレンジしたい人材や若者の支援に繋がる。</li> </ul>
4	新潟県 南魚沼市②	地域未利用資源を活用したスッポンの完全養殖事業	5,361  国費：2,680 地方費：2,681	5,361	ゆきぐに信用組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南魚沼市は生産者の高齢化により水産物の生産量が減少している。</li> <li>・酒粕を有効活用できずに廃棄している地元酒蔵が数多く存在している。</li> <li>・コシヒカリの競争力低下が問題視されコメに次ぐ新たな特産品の創出が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用しスッポンの完全養殖を実現するため新養殖池を整備する。</li> <li>・飼育飼料には市内で廃棄される酒粕を活用することで未活用地域資源を新たな価値へと生まれ変わらせる。</li> <li>・南魚沼で育ったブランドスッポンを新たな特産品として県外へと販売し、地域発信、活性化、観光誘致を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな地域特産品創出及び地域活性化、地域水産物生産量の増加に繋がる。</li> <li>・スッポンの飼育にボイラーでなく温泉熱を活用することでCO2フリーなクリーン養殖を実現し、地域資源循環型社会へ貢献する。</li> <li>・南魚沼の認知度向上、観光客数増加へ貢献する。</li> </ul>
5	石川県 能登町	能登海ぶどうコンテナ養殖事業	35,000  国費：26,250 地方費：8,750	52,500	興能信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢化、また能登半島地震により地域経済の停滞、雇用機会の減少が著しい。</li> <li>・町の総合計画にて独自性の高い産業の育成として海洋深層水を利用した商品開発の支援を掲載しているが、新たな生産・製造にまで至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休地を活用し、養殖工程のすべてをコンテナ内で完結するよう開発された海ぶどう養殖の加工場建設、コンテナ3台を設置し新たな産業を展開する。</li> <li>・地域資源である能登海洋深層水を活用し異物混入のない、ミネラル豊富な品質の高い海ぶどうを町の新たな特産品として全国へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震により、地域経済が停滞している今、復興のきっかけとなる新しい産業を創出することで地域の活性化に繋がる。</li> <li>・地域資源である能登海洋深層水を活用し能登ブランドの海ぶどうとして能登町の新たな名物、特産品になるよう全国に発信し、地域を盛り上げる。</li> <li>・地域資源である海洋深層水を活用したコンテナ養殖の海ぶどうは、町では初めての試みの海産物であり新しい水産のモデルになる。</li> </ul>

団体名		事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
6	長野県 白馬村	高収益作物を活用した地域農業&観光振興事業	8,539  国費：5,692 地方費：2,847	9,900	八十二銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢化、社会経済構造の変化により兼業農家を含む就農人口が減少し、耕作放棄地が増加にあり、観光を基幹産業とする本村にとって、景観への影響や地場の農産品消滅への懸念。</li> <li>・コマや蕎麦といった従来の農産品から、高収益作物への転換が求められる中、地域に根づく新たな特産品開発は、農業及び観光振興支援策にとっても重要課題の一つ。</li> <li>・地域資源を活用し、地域住民自らが主体となって、地域文化の承継と地域経済を循環させる取組を実践したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな特産品として位置付けるヘーゼルナッツ加工施設の整備等</li> <li>・加工施設の内装整備費、機械装置及び備品の購入設置費</li> <li>・ヘーゼルナッツ苗木の作付け、収穫、アイスクリーム（ジェラート）ほか関連商品の開発と販売、喫茶部門の展開</li> <li>・地域資源としての情報発信と観光事業者との連携、ふるさと納税返礼品事業の展開による地域貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地を活用した高収益作物への転換の実現（小規模営農者の継続的な農地維持と収益の確保）に繋がる。</li> <li>・地域資源活用による6次産業化の実現と雇用の創出に繋がる。</li> <li>・特産品の定着による観光客の満足度の向上と観光振興への波及に繋がる。</li> </ul>
7	京都府 亀岡市	亀岡京野菜の魅力を全国・世界に発信 オーガニックビレッジ「京都亀岡」自然食レストラン開業	25,000  国費：12,500 地方費：12,500	25,000	京都中央信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀岡市は京野菜の主要産地であり、有機農業を推進し、全国的に注目を集めているが、市内産農産物を味わえる飲食店が不足。</li> <li>・京都市に隣接し、多くの観光客が来られているにも関わらず、魅力的な飲食店の少なさなども要因となり、消費額が少ないことが長年の課題となっている。</li> <li>・インバウンド観光客の増加などで、有機農産物やその地域でしか味わえない食べ物へのニーズが高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客をメインターゲットとし、日本の原風景である美しい田園が望めるエリアの古民家を改装し、亀岡市産有機農産物や京野菜を味わえる自然食レストランを開業する。</li> <li>・飲食に留まらず、農業体験プログラムを展開することで、亀岡に根差した農産物（テロワール）の魅力を幅広い角度で発信するとともに、農業への関心や興味を喚起し、農業振興につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を訪れる観光客の消費額が増えることで、地域経済の活性化に繋がる。</li> <li>・レストランスタッフの雇用や農業体験プログラムの実施により、地域での雇用の増加や交流に繋がる。</li> <li>・市が取り組む「世界に誇れる環境先進都市」のPRIにより、地域への愛着や誇りの醸成に繋がる。</li> </ul>
8	大阪府 田尻町	体験型農業交流施設及び地元農産物価値創出事業	29,200  国費：14,600 地方費：14,600	43,800	池田泉州銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の高齢化や後継者不足が深刻化し、農業継続や農地存続が課題となっている。</li> <li>・コロナ禍を経てアウトドア志向やインバウンドの回復が進み、農業と観光を結びつけた新しい消費行動が期待される。</li> <li>・地域の農業と観光を連携させ、地域産業の活性化と農産物の高付加価値化を図ることが求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型農業交流施設の整備…収穫体験農園、直売所、農園カフェを設置し、都市住民や訪日外国人に農や食を楽しむ場を提供。</li> <li>・地元農産物を活用した特産品開発…規格外農産物を活用し、地元農家や飲食店と連携して新しい特産品を開発し、農産物の高付加価値化を目指す。</li> <li>・地域雇用の創出と人材育成…高齢者や育児中の母親など地域住民を柔軟に雇用し、就労環境を整備するとともに、新規就農者の育成を推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口の増加により、地域全体の活気が向上し、地域経済の活性化が進む。</li> <li>・農産物の高付加価値化が図られ、地域の農業所得の向上に寄与する。</li> <li>・新規雇用が創出されるとともに、新規就農者が増加し、地域の農業の担い手が確保される。</li> </ul>
9	和歌山県 広川町	全国初のフルーツとペットツーリズムによる観光まちづくり事業	25,000  国費：16,666 地方費：8,334	27,265	きのくに信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化が進む広川町は、町土の76%を森林が占めており、大規模な工場や企業の誘致が難しい環境である一方で、観光産業においては発展のポテンシャルがある。</li> <li>・しかし、現状は有名観光地の白浜町へ向かう通過地点となっており、観光産業の育成が進んでいない。</li> <li>・「観光＝人間同士」という前提では、有名観光地への通過地点から脱却できない。魅力の差別化が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かな広川町にて、広大な遊休地を活用したドギーパークを新設。</li> <li>・「ペットと訪れる観光地」として差別化し、新たな観光需要の創出と客層の取り込みを図る。</li> <li>・ドギーパークには、地域の特産品（有田みかんなどのフルーツや水産資源）を活用した飲食を提供する場を設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部（京阪神）からの日帰り客を含めた幅広い観光の誘客に繋がる。</li> <li>・観光消費額の増加に伴う域内経済の活性化、地場産品の活用・販売の促進に繋がる。</li> <li>・「ペットと訪れる観光地」としての地域ブランドの醸成に繋がる。</li> </ul>
10	島根県 江津市	江津市東部の拠点づくりひと・こと・しごとのコミュニティ形成事業一	50,000  国費：33,333 地方費：16,667	160,000	日本海信用金庫 日本政策金融公庫 山陰合同銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江津市は若年層世代の地域外流出が顕著となっており、人口減少に歯止めがかからず地域経済が縮小しており、人口減少対策と地域経済の活性化が江津市の最重要課題となっている。</li> <li>・令和6年度中に山陰道出雲～多伎区間が開通し、遠方から江津市へアクセスできるようになる。</li> <li>・「舞乃市」は「サンピゴごうつ」と併せて道の駅として成功している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道の駅「舞乃市」を再生し、地域密着型レストラン、地元産直スイーツ工房、カフェを併設したワーキングスペースを整備する。</li> <li>・コミュニティカフェの新設：都会地の人々と地域住民が繋がるための定期的なイベントを開催する。個室ブースを設け車で移動するビジネスマンの需要を取り込む。</li> <li>・地元食材の活用：スイーツや食堂メニューを開発し、市内外の人を呼び込み生産者とも繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京以上のワーキングスペース環境を整備する事で、地域格差をなくしたサービスを提供できる。</li> <li>・コミュニティカフェを新設することで入込客数が増え、新しいコミュニティが生まれ、関係人口の増加につながる。</li> <li>・地域の食を提供し、生産者と利用者を繋げることで関係人口が増加し、地域経済が活性化される。</li> </ul>

団体名		事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
11	福岡県 岡垣町	岡垣町の天然地下水を活用した、アルミボトル缶入りミネラルウォーター製造販売事業	25,000  国費：12,500 地方費：12,500	25,000	遠賀信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡垣町は自然に恵まれ、地下水の割合が約85%のおいしい水道水が魅力（地域資源）の一つとなっている。</li> <li>・総合計画において、「おいしい水、きれいなまちを守る」「災害から住民を守る」ことについて、重要事項の一つとして掲げている。</li> <li>・人口減少が進んでおり、高齢者人口も33%を超えており、それらの課題解決に向けて、地域資源を活用した新たな移住・定住策など、岡垣町のシティブロモーションに取組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡垣町の地域資源である天然地下水を、アルミボトル缶にボトリングされた製品の製造、販売を行う。</li> <li>・一般消費者へ備蓄水として販売（ペットボトルではなくアルミボトル缶を使用することで、保存性が向上する）。また、オンライン販売も行う。</li> <li>・アルミボトル缶のデザインについて、岡垣町のシンボルである「カワセミ」や、キャッチフレーズである「海がめもかえる町」を採用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業であり、地域経済の活性化に繋がる。</li> <li>・備蓄水として販売することで、災害時に備えた準備が可能となる。</li> <li>・岡垣町のおいしい水や認知度の向上、それにより移住・定住に繋がることで、人口減少や高齢化などの課題解決に寄与する。</li> </ul>
12	福岡県 福智町	クラフトサケ醸造所を起点とした地域の魅力向上事業	26,666  国費：17,777 地方費：8,889	40,000	西日本シティ銀行 日本政策金融公庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産炭地として繁栄したが炭鉱閉山後、人口減少、高齢化等により当時の賑わいが失われた。</li> <li>・福智登山や上野焼の窯元が点在する陶芸の里などの魅力的な観光資源を有するが、観光客が伸び悩んでいる。</li> <li>・地域資源を使って新しい人の流れをつくることを総合戦略の基本目標としているが、各コンテンツの運動性に欠け、回遊性を高めた周遊滞在型の観光に繋がっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊滞在型の観光振興を強化するため、観光拠点の一つとして上野地区にクラフトサケ醸造所を整備。</li> <li>・地元事業者等と連携し、「自然」、「農業」、「芸術・文化」などの地域資源を活用した活用したオプショナルツアー事業を展開。</li> <li>・醸造所には、直売所や見学スペースを設けるほか、上野焼協同組合と連携し、陶器祭りと連動したイベントを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元観光資源への訪問客や回遊による町内滞在時間が増え、地域の活性化に繋がる。</li> <li>・地元事業者との連携により、地場製品の販売や活用が広がり、観光振興に繋がる。</li> <li>・原材料に地元農産物を使用することにより農業振興に繋がる。</li> </ul>
13	熊本県 天草市	天草ならではの食と眺望を同時に味わえるクルーズ観光事業	12,162  国費：8,108 地方費：4,054	12,162	天草信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県を代表する観光地であるが、近年は熊本地震や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により著しく観光客が減少している。</li> <li>・豊かな自然や歴史、食の観光資源を有する場所でありながら、観光パターンが少なく、旅先として選ばれる地域となるための特色が必要とされている。</li> <li>・原材料費や燃料費の高騰などの影響を受け、新たなサービスを開発して付加価値を上げ、客単価に反映させていかなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中古船舶を40人定員の観光クルーズ船に改修し、天草ならではの海上の観光資源を活用する。</li> <li>・サンセットクルーズやサンライズクルーズなど食事付きのクルーズプランを複数開発し、高価格帯の観光サービスの提供を行う。</li> <li>・イルカウォッチング船ではできなかった近隣の港湾への送迎も行き、市内中心部に集中していた観光客を誘客して新たな需要を獲得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の観光客の誘客により交流人口の増加につながる。</li> <li>・高付加価値の観光メニューの提供、近隣宿泊施設への誘客により観光消費額の増加が図られる。</li> <li>・地元水産業者や食材提供事業者等との連携により地域一体となった域外需要の獲得、地域経済の循環が推進される。</li> </ul>
14	沖縄県 竹富町	沖縄県竹富町黒島で新たな産業創出を！地域課題解決につながる塩事業	7,620  国費：5,715 地方費：1,905	7,621	琉球銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産業が主要の黒島では、近年子牛の価格下落に伴い、多くの畜産農家が影響を受け、生活が苦しい状況となっている。また、地域産業が乏しい竹富町では、産業振興の観点から、新たな産業創出が必要となっている。</li> <li>・竹富町に来島する観光客に対し土産品が少ないため、地域土産の創出を目指している。</li> <li>・黒島は水資源に乏しい離島であり、干ばつの対策として生活用水の確保が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品認定を目指し、展開が可能な製塩事業を実施するため、廃業した養殖工場施設を改修整備を実施。</li> <li>・西表島の塩で実際に使用していた設備を取り入れ、自動で行う効率的な製塩事業の確立。</li> <li>・事業開始後、地域住民の雇用創出を図り、事業主体を中心に効率的な働き方で、黒島の第2の産業を創出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民の雇用創出と新たな産業創出に伴い、町の産業振興に貢献し、黒島地区内での経済循環の創造に繋がる。</li> <li>・竹富町特産品認定により、観光客の購買意欲を促し、特産品売上増加に貢献。</li> <li>・製塩工程で生成できる真水を貯水することで、黒島地区の水資源不足の課題に貢献。</li> </ul>

324,865

527,427